

船越の舞台は通常公開していませんが、平成17(2005)年から9月中旬～10月中旬の約1ヶ月間の土・日曜日と祝日に、平成26(2014)年からはさらに5月中旬～6月中旬までの約1ヶ月間の土・日曜日も床上公開しています。この行事に「炉端の会」は全面的に協力し、公開日のガイド担当は各曜日班に割り当てられており、公開日には数名が参加しています。

春期・秋期の公開に先立って毎年園学芸員により「船越の舞台解説ボランティアマニュアル」によって公開の事前準備、退出時の処置や見学者への対応などの現場説明が行われています。また、見学者へのガイド内容の説明も現場で丁寧に行われますので、安心して対応できます。

公開日の一日の行動は次のようです。受付で鍵と日誌・カウンター・トランシーバーを受け取り10時に現場に集合し、公開準備を始めます。まず照明をつけ、正面の戸を開け、奈落口の蓋を開け、観覧コースに案内札を置き、入口にスリッパ・傘立てなどを置き、床上を掃き掃除します。舞台前面の床上に舞台の旧所在地の地図や移築前の写真、民家園まつりで行われている歌舞伎公演の写真などを展示して見学者を待ちます。「炉端の会」ガイドは見学者の案内と説明のために、舞台に2～3名、廻り舞台のメカニズムの説明のため奈落到1名、舞台建物の外に1～2名と配置につきます。ガイドは舞台建物の歴史、廻り舞台や奈落・花道・棧・棚・出語りなどの舞台設備と、舞台の裏にある興行記念額・銘板、襖・襖箱、幕箱などの資料について説明します。また11月3日の「民家園まつり」には有料で歌舞伎公演を行うことをPRしています。天気のよい日には多数の見学者が来られ、特に午後は対応に忙しくなります。

15時15分頃より舞台正面の戸を閉め始め、園より指示されている退出時の処置を行い日誌の記入をして、15時30分頃に退出して一日が終わります。



舞台の全面を開いて来客に説明



江戸時代の舞台装置の説明

(編集委員 11期 木曜 長谷川)